東北学院大学

# 博物館年報

2023

Vol.15

INDEX


| | |
|---|---|
| 概要・組織 | 2 |
| 展示活動 | 3 |
| 普及教育活動 | 4 |
| 資料収集・調査・保存 | 5 |
| 研修・調査 | 5 |
| 大学教育支援 | 6 |
| 刊行物・広報 | 7 |
| 利用統計 | 7 |
| 運営 | 9 |
| 利用案内 | 10 |

## 概要

東北学院大学博物館は、文学部歴史学科をはじめとした本学の最前線の研究成果をひろく社会に紹介するとともに、博物館学芸員課程を履修する学生や大学院生の教育の場として活用することを目的に、2009 年に開館した。杜の都仙台のメインストリートの一つ愛宕上杉通りに面しており、市民に親しまれる大学博物館を目指している。

施設は鉄骨平屋建で、建物面積は約 300 ㎡である。展示室（180 ㎡）のほか、収蔵庫、実習室、事務室、多目的トイレ等を備え、貴重な資料等を管理・保存・公開する環境が整備されている。

展示の最大の特色は、教員と学生が寝食を共にしておこなうフィールドワーク、実物資料を扱いながら歴史を読み解くゼミ活動での成果などをもとに、学生たち自身が展示を考え、実施していく点にある。

2023 年度は、2019 年度以来 3 年ぶりに年間を通じて一般公開をおこない、また宮城県考古学会との共催展示、東北大学及び SMMA(仙台宮城ミュージアムアライアンス)との連携イベントなど学外との連携事業も積極的に展開し、活動の幅を拡げることが出来た 1 年であった。

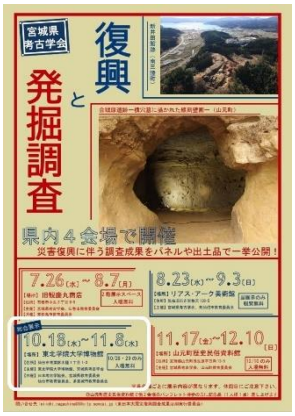
## 組織（2023 年度）

**職 員**

| | | |
|---|---|---|
| 館　長 | 永田　英明 | 文学部歴史学科教授 |
| 学 芸 員 | 七海　雅人 | 文学部歴史学科教授 |
| 学 芸 員 | 金子　祥之 | 文学部歴史学科准教授 |
| 学 芸 員 | 佐藤　敏幸 | 業務委託職員 |
| 事務職員 | 伊藤　史恵 | 学修支援課　派遣職員(2023.4～) |
| | 伊藤 みつ美 | 学修支援課　派遣職員(2023.8～) |
| 学芸研究員 | 真柄　　侑 | 大学院文学研究科　アジア文化史専攻博士後期課程 |
| | 横山　　舞 | 大学院文学研究科　アジア文化史専攻博士後期課程 |
| | 福澤　光稀 | 大学院文学研究科　アジア文化史専攻博士前期課程 |
| | 楊　　雪 雁 | 大学院文学研究科　アジア文化史専攻博士前期課程 |
| | 熊谷　弐胡 | 大学院文学研究科　アジア文化史専攻博士前期課程 |
| | 熊谷 龍之介 | 大学院文学研究科　アジア文化史専攻博士前期課程 |
| | 小暮　遥奈 | 大学院文学研究科　アジア文化史専攻博士前期課程 |
| | 増藤　雄大 | 大学院文学研究科　アジア文化史専攻博士前期課程 |

## 展示活動

### 復興と発掘調査　展




2023 年 10 月 18 日（水）～11 月 8 日（水）

主催　東北学院大学博物館・宮城県考古学会

共催　日本考古学協会・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会

・多賀城市教育委員会

10 月 28 日(土)~30 日(月)に本学を会場として開催された日本考古学協会 2023 年度大会にあわせ、宮城県内の災害復興に関わる発掘調査の成果と出土遺物の一部を紹介する展示を実施し、東日本大震災後に宮城県内各地で実施された、縄文から近世に至る各時代の最新の調査成果を紹介した。なおこの展示は当館の他、旧観慶丸商店（石巻市 7/26～8/7)、リアス・アーク美術館（気仙沼市 8/23～9/3)・山元町歴史民俗資料館（11/17～12/10）を会場に巡回展示として開催された。

### 企画展　大履物展～暮らしの中の足もと※2022 年度から継続

2023 年 3 月 14 日(火)～2024 年 2 月 29 日（木）

前年度末からの継続で、当館所蔵の東北各地の資料 32 点、および文学部歴史学科金子ゼミの活動で収集した福島県檜枝岐村の資料 6 点、合計 38 点の「はきもの」資料を、それを履きかえる場面での人々の意識に着目して紹介した。また 2022 年度の「博物館情報・メディア論」（担当：永田英明）の授業で作成した、展示資料に関するショート・ムービーをあわせて公開した。

### 2023 年度館園実習成果展

**勝平得之の版画を読み解く** 2023 年 8 月 20 日(水)～2024 年 7 月 30 日(火)

東北地方の風習を記録した美術資料・歴史資料として当館で継続的に収集している、秋田出身の民俗版画家勝平得之の作品をもとに、実習生の課題として展示を制作し公開した。（右写真：黄金堂和讃 1942 年）

**東北学院大学古墳ってな～に？** 2024 年 2 月 5 日(月)～3 月 29 日(金)

旧多賀城キャンパスに所在した「東北学院大学古墳」（現・多賀城市稲荷殿古墳）を紹介展示した。

### ゼミ活動展

**中世の霊場と信仰　松島の世界：歴史学科日本中世史ゼミ(七海ゼミ)※2022 年度より継続**

宮城県松島町の雄島周辺海底から採取した板碑に関する調査成果を紹介した。パネル・キャプションについて一部を更新した。

**古墳をあるく：歴史学科考古学ゼミ(辻ゼミ)※2022 年度より継続**

考古学ゼミによる永年にわたる宮城・福島地域における古墳の発掘成果を展示照会した。

**新浜の暮らしを掘り起こす：歴史学科日本近世史ゼミ(菊池ゼミ)※2022 年度より継続**

仙台市宮城野区の新浜地区住民との交流を通じて継続してきたフィールドワークの成果を展示した。

**木簡から迫る万葉びとのしご：歴史学科日本古代史ゼミ(永田ゼミ)※2022 年度より継続**

今年度は平城宮跡出土の荷札木簡を中心に学生が製作したレプリカとその解説パネルを展示した。

## 普及教育活動

### SMMAミュージアムユニバース展　せんだいひとむかし展

2023 年 12 月 14 日(木)～12 月 17 日(日)

仙台•宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)の参加館が、ミュージアムの楽しさを伝える毎年恒例のイベント「ミュージアムユニバース」に参加した。今年のテーマは、「せんだいひとむかし」で、仙台市内の歴史・記憶をたどる企画であり、当館について、幻に終わったかつての博物館計画から 2010 年の開館、現在の活動までをパネルにまとめ、土樋キャンパスの古写真とともに展示した。

### SMMA 見学会楽学ツアー「東北大学･東北学院大学キャンパスツアー－片平･土樋を歩く－」

2024 年 3 月 2 日(土)　ＳＭＭＡ、東北大学史料館と共催で開催

市民を対象にした東北大学片平キャンパス・東北学院大学土樋キャンパスの散策ツアーを、東北大学史料館との連携で実施した。当日は両大学とも大学院生を含む学生が案内役を務め、本学では当館の学芸研究員 3 名が、デフォレスト館や本館・礼拝堂・大学院棟などの構内の歴史的建造物と博物館内を案内した。当日は 30 組 40 名の参加があった。

## 資料収集・調査・保存

### 資料の新規収集･調査

#### ① 仙台市内河原町の商家「西村家」の資料調査

2022 年度に歴史学科民俗学ゼミ（政岡教授）の全面的な協力のもとで授業の一環として整理作業を行った「西村家生活関係資料」全 266 点を正式に博物館に受け入れた。同資料の目録については下記で公開されている。https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/25052

#### ② カマ神 ２点

宮城県大崎市内の古民家が解体された際に、確認されたものというカマ神２点を、本学同窓生より寄贈を受けた。いずれも木製であり、大きさは 42cm×33cm、49cm×30cm と中型からやや大型にあたる。面相は憤怒の表情、微笑んでいるような表情である。耳に標識ロープが巻き付けられており、建物が解体される直前まで、吊り下げられていたことを物語っている。

#### ③ 勝平得之版画 ２点

当館が継続的に収集している、秋田出身の民俗版画家勝平得之（かつひらとくし　1904-1971）の作品 2 点（「人形図」「人形・こけし」）を古書店から購入した。

### 収蔵庫および保管資料の点検･調査

① ６号館地下資料室保管資料の整理作業をおこなった。

② 収蔵庫のくん蒸作業　2024 年 3 月に実施した。

## 研修・調査

### 研修会等への参加

#### 宮城県博物館等連絡協議会研修会「教育普及イベントの企画運営について」への参加

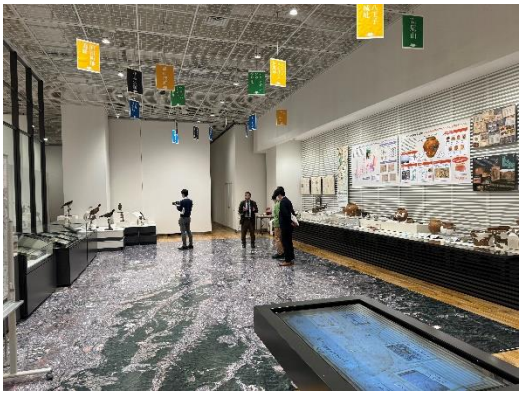
2024 年 2 月 16 日(金)に東北歴史博物館で開催された研修会に 2 名の職員が参加し、博物館ワークショップに関する講演および実演研修を受講した。

#### SMMA 研修会「ミュージアムと法～資料の収集･保管･展示等を巡って～」への参加

2024 年 3 月 14 日(木)にオンラインで開催された研修会に、2 名の職員が参加した。

### 博物館等の実地調査

#### 帝京大学博物館　2024 年 2 月 26 日(月)



本学博物館の将来構想検討のための調査として、職員 3 名(館長・学芸員 2 名)が帝京大学総合博物館（帝京大学八王子キャンパス）を訪問した。同館館長および学芸員との面談を通じ同館の運営体制、事業内容等に関する取材、および施設見学の機会を得た。学内外との連携を通じて多様な展示や教育普及活動の展開、それを支える理念や運営体制、学生スタッフの活動などについてヒアリングを実施し、さらに展示室・収蔵庫などの視察を行い先進的な博物館施設整備のあり方について情報を得ることができた。

## 大学教育支援

### 博物館館園実習の実施

「博物館実習Ⅰ」として行われる博物館館園実習の一部を、下記の要領で受入れ実施した。

受入学生数：29 名

日程　　1 班：2023 年 8 月 11～16 日　　2 班：2023 年 8 月 17～22 日

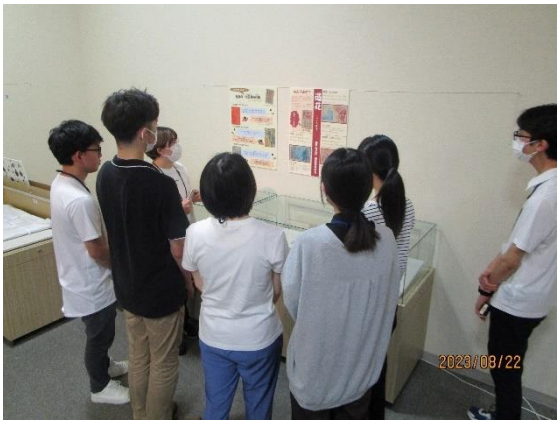
　　3 班：2023 年 8 月 24～29 日　　4 班：2024 年 1 月 30～2 月 3 日

成果展示

1～3 班：「勝平得之の版画を読み解く」展の制作

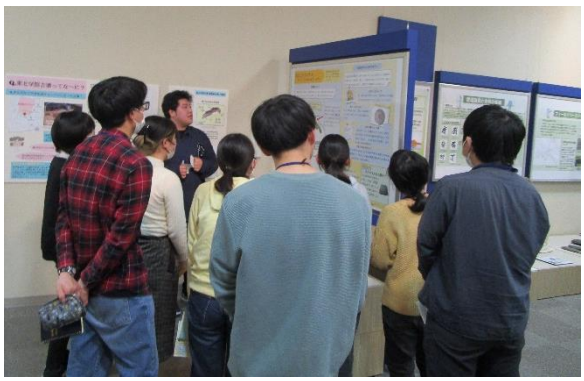
4 班：「東北学院大学古墳ってな～に？」展の制作

1 班




2 班

3 班



4 班

### 学芸員課程科目への協力

「博物館実習Ⅰ」「博物館情報・メディア論」の履修学生を対象に、博物館を活用した授業等を実施した（別表参照）。

### 学部教育への協力

文学部歴史学科の開講科目を中心に、ゼミ活動の成果発表展示等の機会を提供した。

### 大学院生の学芸員教育（学芸研究員制度）

大学院文学研究科アジア文化史専攻の大学院生合計 8 名を「学芸研究員」として雇用し、学芸員実務経験の習得の機会を提供した。

## 刊行物・広報

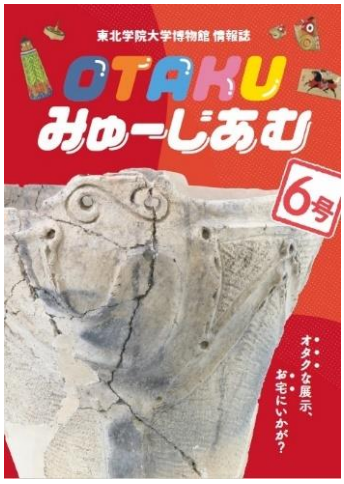
### 情報誌『OTAKU みゅーじあむ』の編集・発行

・第 6 号・第 7 号を発行し、市内公共施設や市内小中学校、県内高等学校等に送付した。

・博物館オリジナルホームページに掲載

### 『KOREMITE』vol.9の発行（2024 年 3 月）

・企画展「青春民玩」（2024 年 5 月公開）の展示図録として、学芸研究員を中心に企画・編集・執筆をおこなった。




OTAKU ミュージアム vol.6

OTAKU ミュージアム vol.7

KOREMITE　vol.9

### X（旧ツイッター）による情報発信

合計 55 回の更新をおこなった。

### ホームページによる情報発信

・オリジナルホームページ（https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum/）の更新をおこなった。

・大学ホームページ内の大学博物館に関するページの更新と情報発信をおこなった。

### 年報の作成・発行（電子媒体）

2022 年度の年報（電子媒体）を編集・発行しホームページ上で公開している

## 利用統計　2023 年度

### 1. 博物館入館者数一覧※学芸員課程科目などの授業の一環としての利用は除く

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開館日数 | 22 | 22 | 24 | 23 | 20 | 20 | 24 | 22 | 21 | 21 | 19 | 19 | 257 |
| 有料入館者数 | 24 | 21 | 10 | 12 | 16 | 22 | 20 | 29 | 36 | 24 | 16 | 27 | 257 |
| 無料入館者数 | 81 | 319 | 134 | 148 | 27 | 14 | 234 | 22 | 38 | 38 | 119 | 80 | 1256 |
| 小計 | 105 | 340 | 144 | 160 | 43 | 36 | 254 | 51 | 74 | 62 | 135 | 107 | 1513 |
| 開館後累計 | | | | | | | | | | | | | 19427 |

## 2. 無料開館日入館者数

| | | |
|---|---|---|
| 創立記念日 | 5 月 15 日（月） | 2 名 |
| 後援会総会 | 6 月 10 日（土） | 32 |
| 初夏のオープンキャンパス | 6 月 24 日（土） | 47 名 |
| 夏のオープンキャンパス | 7 月 29 日（土） | 66 名 |
| 大学祭 | 10 月 21 日(土)～22 日（日） | 48 名 |
| 東北文化の日 | 10 月 28 日(土) ～29 日(日) | 149 名 |
| 秋のオープンキャンパス | 12 月 9 日（土） | 14 名 |
| 公開クリスマス | 12 月 15 日(土 ) | - |
| 卒業式 | 2024 年　3 月 26 日（火） | 13 名 |

## 3. 授業・館園実習等での博物館利用人数※人数はのべ人数/1日単位

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業 | 回数 | 9 | 4 | 7 | 16 | 0 | 6 | 16 | 15 | 12 | 11 | - | - | 96 |
| | 人数 | 130 | 41 | 66 | 156 | 0 | 52 | 167 | 150 | 123 | 116 | - | - | 1001 |
| 館園 | 回数 | - | - | - | - | 15 | - | - | - | - | 2 | 3 | - | 20 |
| 実習 | 人数 | - | - | - | - | 105 | - | - | - | - | 18 | 27 | - | 150 |
| 合計人数 | | 130 | 41 | 66 | 156 | 105 | 52 | 167 | 165 | 135 | 147 | 30 | - | 1267 |

## 4. 学校教育における利用（施設見学・職場体験学習）

| 施設見学 | | | 職場体験 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 4／18 | 盛岡市立巻堀中学校 | 6 | 10／12 | 東北学院中学校 | 4 |
| 5／10 | 玉浦中学校 | 6 | 11／9 | 将監東/南小泉/愛宕/ | |
| 5／18 | 筑波大学付属駒場中学校 | 5 | | 台原/南光台(各校２名) | 10 |
| 5／24 | 東北学院高校 | 96 | 11／14 | 袋原/柳生(各校２名) | 4 |
| 5／25 | 東北学院高校 | 140 | 11／16 | 幸町/向陽台(各校２名) | 4 |
| 7／7 | 東北学院榴ヶ岡高校 | 60 | 11／21 | 五橋 | 2 |
| 2／16 | 東北学院高校 TG コース | 95 名 | | | |
| | 合計　7 件 | 408 名 | | 合計 5 件 | 24 名 |

## 5.　館蔵資料の閲覧、撮影、出版物掲載利用申請

| 申請者 | 閲覧 | 撮影 | 掲載 | 出版物・放映番組（申請対象資料・備考） |
|---|---|---|---|---|
| 株式会社テレビ朝日 | | | 1 | テレビ放送「帰れマンデー見っけ隊!!」（「仙台年中行事絵巻」） |
| (株)ユニフォトプレス | | | 1 | 大学入試共通テスト問題集（山田晧司絵はがきコレクション２点） |
| (株)雄山閣 | | | 1 | 春成秀爾編「何が歴史を動かしたのか第３巻　古墳モニュメントと歴史考古学」（市川橋遺跡出土墨書人面土器） |
| (株)河合出版 | | | 1 | 『大学入試共通テスト過去問レビュー歴史総合、日本史探究』（山田晧司絵はがきコレクション２点） |
| 個人 | 1 | 1 | | 『仙台藩租税要略１～５巻』 |

# 運営

## 東北学院大学博物館運営委員会

博物館の運営に関する重要事項を審議するため、東北学院大学博物館運営委員会を開催した。

第 1 回委員会　　2023 年 6 月 30 日（木）開催（Zoom ミーティングによる開催）

報告事項　1）2022 年度事業報告

2）2022 年度決算および 2023 年度予算報告

3）2023 年度学芸研究員採用について

審議事項　1）2023 年度事業活動計画(案)について

2）2023 年度博物館館園実習概要(案)について

3）2023 年度無料開館日（案）について

4）その他

第 2 回委員会、　2023 年 11 月 28 日（火）開催（Zoom ミーティングによる開催）

報告事項　1）2023 年度事業の実施状況について

2）2023 年度利用状況報告

3）2023 年度博物館館園実習報告

4）その他

審議事項　1）2024 度事業計画（案）について

2）2024 年度予算（案）について

3）東北学院ミュージアムサポーターの創設について

4）前回議事録の確認

5）その他

### 2023 年度　博物館運営委員会委員名簿（2024 年 3 月現在）

| | | |
|---|---|---|
| 1． | 博物館長 | 永　田　英　明（文学部歴史学科教授） |
| 2． | 文学部長 | 紺　野　　祐　（文学部教育学科教授） |
| 3． | 学務部長 | 平　野　幹　雄（人間科学部心理行動学科教授） |
| 4． | 図書館長 | 松　村　尚　彦（経営学部経営学科教授） |
| 5． | 総務部長 | 渡　邊　義　春 |
| 6． | 歴史学科長 | 七　海　雅　人（文学部歴史学科教授） |
| 7． | 経済学部 | 塚　原　義　央（法学部法律学科教授） |
| 8． | 情報学部 | 渡　邊　　圭（情報学部データサイエンス学科講師） |
| 9． | 人間科学部 | 天　野　和　彦（人間科学部心理行動学科准教授） |
| 10． | 教養教育センター | 巖　谷　睦　月（教養学部言語文化学科准教授） |

# 利用案内

開館時間 ：午前９時３０分～午後５時 （入館は午後４時３０分まで）
休 館 日 ：日曜日、祝日・休日、
第２・第４週を除く毎週土曜日
大学の定める休業日
入 館 料 ：一般２００円（減免措置あり）
※学校法人東北学院の役員・教職員・学生・生徒・園児・旧役員・旧教職員は無料。大学同窓生は、ホームカミング・デー等の館長の定める行事日は無料。未就学児、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校もしくは高等専門学校の児童、生徒又は学生、６５歳以上の方、障害者基本法に定める障害者と介護者１名は無料。

〒980-8511　宮城県仙台市青葉区土樋一丁目３-１
電話　022-264-6920
FAX　022-264-6917
Mail　museum@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

交通案内

●地下鉄「五橋駅」下車、
愛宕上杉通を南方向に徒歩５分

| | |
|---|---|
| 2023 年度 | 東北学院大学博物館年報　vol.15 |
| 編集・発行 | 東北学院大学博物館 |
| 発行日 | 2024 年 6 月 30 日 |